

令和 8 年度
市民協働・共創促進事業の選定結果について
(答申)

令和 8 年 6 月
府中市市民協働推進会議

令和8年5月14日付けで、高野市長より諮問を受けた事項のうち、市民協働・共創促進事業の選定結果について、ここに、答申として提出いたします。

府中市市民協働推進会議	
会長	青山 亨
副会長	関根 正敏
委員	五十嵐 耕大
同	芝 喜久子
同	柴原 健次
同	高橋 史子
同	竹内 俊介
同	田中 誠
同	名島 純基
同	野原 健史
同	花岡 麻穂子

目 次

1	市民協働・共創促進事業について	1
2	交付予定事業候補選定のながれ	1
3	選定結果	2

参考資料

- 1 市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 市民協働・共創促進事業採択者審査基準

1 市民協働・共創促進事業について

市民協働・共創促進事業は、行政課題の解決や社会的目的を実現する市民提案を募集し、市民と市が協働・共創し事業を実施する制度です。

本事業には、フリー型市民協働・共創促進事業とテーマ型市民協働・共創促進事業があります。フリー型市民協働・共創促進事業は、市民の自由な発想に基づき提案できるもので、テーマ型市民協働・共創促進事業は、市が掲げたテーマに基づき事業を提案できるものです。

2 交付予定事業候補選定のながれ

令和8年2月15日（日）から3月31日（火）までに提案のあった4事業について、5月26日（火）に、審査会を実施しました。

審査会では、提案団体による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った後、府中市市民協働推進会議の委員で構成する「市民協働推進会議市民協働・共創促進事業選定・評価部会（以下「部会」といいます。）」と、オブザーバーとなる協働・共創アドバイザー、市民協働推進部長、協働共創推進課長との意見交換を経て、部会による審査を行い、令和8年度市民協働・共創促進事業の候補事業として選定しました。

【市民協働推進会議市民協働・共創促進事業選定・評価部会員】

役 職	氏 名
部会長	五十嵐 耕 大
委 員	芝 喜久子
委 員	花 岡 麻穂子

【オブザーバー】

所 属	氏 名
協 働 ・ 共 創 ア ド バ イ ザ ー	中 村 亮 一
府 中 市 市 民 協 働 推 進 部 長	大 井 孝 夫
府中市市民協働推進部協働共創推進課長	福 嶋 史 江

3 選定結果

当会議が行った、令和8年度市民協働・共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての条件・意見等
1	市民主体の環境保全活動センター検討会議	特定非営利活動法人 府中市民活動支援センター	環境政策課	ワークショップ手法を使い、環境保全活動に関わっている方からは、事業・リソースについてアイデアを、新たに関わっていただきたい市民・学校・事業者に対しては、やってみたい、あるいは参加してみたい事業について意見を収集し、事業案等を作成する。	テーマ型	890,863 円 (890,863 円)	採択	【付帯条件】 ・ワークショップの一般参加者に対する謝礼については、審議会等の委員報酬とは性質が異なるため、委託費の対象外とすること。 ・本事業実施後、成果物として単なる意見一覧・報告書ではなく、当該意見等を踏まえて、市の方針案（現状の分析を行い、運営形態を検討する）・事業案・施策案・運営体制案・実施スケジュール・概算費用等を具体的に取りまとめて報告すること。なお、報告内容は広く市民へ公開すること。 ・参加者が日頃から環境保全活動に関わる市民・団体等に偏らないよう、学校、事業者、若年層、子育て世代等にも積極的に参加を呼びかけること。また、提案者から重点的に声をかけたいという旨の説明があったことを受け、若年層（40 歳未満）の参加割合を5割以上にすることを目標として設定し、対策を講じること。
2	多摩産材の間伐材まな板作り（寄贈）	株式会社ユニーク K	協働共創推進課	講師による講演を行い間伐の意義（森林保全、土砂災害防止、生態系保護など）を学習し、地域資源の循環を理解する。木の香りや手触りを感じながら「資源を大切に使う」体験をする。 寄贈する事により高齢者への思いやりや交流につながり子どもの創作が人を喜ばせる「心の社会貢献」を体験できる。	テーマ型	996,600 円 (984,600 円)	採択	【付帯条件】 ・継続的に事業を行うことを視野に入れ、参加者が社会貢献活動を自分ごととして意識できるようにするために、参加者から参加費を徴収すること。 ・高齢者施設への寄贈について、自ら寄贈することで人の役に立つ実感が得られ、次の活動へのモチベーションに繋がるため、出来る限り多くの希望者に参加させること。

3	ゲームで進める府中市の男女共同参画推進事業	一般社団法人チーム主夫ラボ	多様性社会推進課	「対話型ゲーム」を用い、性別による役割や無意識の偏見を解消し、男女共同参画推進に向けたマインドチェンジを図ることで、男性育児参画や女性活躍推進、市民のワーク・ライフ・バランスも実現する。	フリー型	946,160 円 (946,160 円)	採択	【付帯意見】 ・次年度以降もカードを使用したイベントを継続するため、市民の認定ファシリテーターを育成すること。 ・まだ育児をしていない世代にも大切なテーマであるため、学生の参加を促すこと。 ・イベント実施回数に関わらず、目標人数（200人）が達成できるように努めること。
4	健康寿命を延ばす府中の食育プロジェクト	株式会社オレンジページ	健康推進課	腸活理論（順天堂大学医学部特任教授・小林弘幸先生監修）×府中産野菜×市民・食育推進リーダーとのレシピ共創を通じて腸活レシピ冊子を制作し、市民講演会とあわせて食行動変容を科学的根拠つきで市民に届け、健康寿命延伸に貢献する。	フリー型	1,000,000 円 (1,000,000 円)	採択	【付帯意見】 ・より多くの方に普及させるため、介護予防事業の取り組み等分野の異なる他事業と連携すること。 ・地場産野菜の地産地消の観点から、市内農家や東京農工大学、都立農業高等学校と連携すること。 ・提案事業者の広報ツールも積極的に活用し、周知を行うこと。

令和 8 年度市民協働・共創促進事業審査結果

評価項目			地域課題の 明確性	共創の必要性	公益性・ 社会的インパクト	独自性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	事業名	団体名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	市民主体の環境保全活動センター検討会議	特定非営利活動法人 府中市民活動支援センター	1 9	2 0	1 8	1 7	1 8	1 6	1 0 8	6 0 %	可	100%
2	多摩産材の間伐材まな板作り（寄贈）	株式会社ユニーク K	1 9	1 7	1 8	1 6	2 0	1 8	1 0 8	6 0 %	可	100%
3	ゲームで進める府中市の男女共同参画推進事業	一般社団法人チーム 主夫ラボ	2 6	2 4	2 4	2 5	2 5	2 1	1 4 5	8 1 %	可	100%
4	健康寿命を延ばす府中の食育プロジェクト	株式会社オレンジページ	2 5	2 3	2 3	2 3	2 5	2 3	1 4 2	7 9 %	可	100%

参考資料

市民協働推進会議市民協働・共創促進事業選定・評価部会

1 市民協働・共創促進事業（官民連携）採択者審査基準

審査項目	審査の視点	満点
の 地 明 域 確 課 性 題	地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えているか。	10
	市単独では解決できない課題が明確に存在するか。	
共 創 の 必 要 性	市にとって協働・共創する意義があり、課題解決のために市が関わることがふさわしい事業か。	10
	団体と市との役割分担が明確かつ妥当なものであるか。	
	市では従来にはない解決策であると認められるか。	
公 益 性	特定の人の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与するか。	10
	事業を共創することにより、具体的な成果を期待できるか。	
	ロジックモデルの内容が妥当（実現可能性、ロジックに矛盾がないか）であるか。	
独 自 性	新しい視点と創意により組み立てられた事業か。	10
	事業の発展性や将来性が期待できるか。	
	市にとっても新たな取組であり、何らかのイノベーション創出につながるか。	
実 現 可 能 性	目標が明確で、達成が見込める（無理のない）計画となっているか。	10
	計画を実現できる体制（人材面・資金面）を有しているか。	
	提案書や提案説明で、事業のポイントや団体の熱意を的確に伝えられているか。	
妥 当 性	費用対効果の視点で、市の委託事業として妥当であるか。	10
	令和8年度中に緊急で実施すべき事由があると認められるか。	
合計		60

2 採点基準

満点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
10 点	10・9 点	8・7 点	6・5 点	4・3 点	2・1 点	0 点

※各審査員が「可」または「不可」を判定します。

一つの審査項目につき、10点満点の計60点とし、各審査員がそれぞれ採点を行います。全審査員の合計点を審査の点数とし、審査の点数が6割を超え、かつ「可」が過半数を超えることを審査通過にあたっての最低基準とします。